

平成
26
年度

最新型FM中継局同期放送システム 導入による放送エリアの拡大

企
業
テ
ー
タ

株式会社エフエムみやこ

■所在地: 〒906-0013 沖縄県宮古島市平良字下里581-2 ■代表者名: 代表取締役 仲里 雅彦
 ■TEL: 0980-79-0165 ■FAX: 0980-79-0166 ■URL: <http://www.fm-miyako.com>
 ■設立年: 平成14年 ■資本金額: 1,600万円 ■従業員数: 5人 ■業種: 放送業



代表取締役 仲里 雅彦

経緯

当社は離島初のコミュニティFM放送局として平成14年に開局。「島ラジオ」として地域情報や防災情報、観光情報など地域に密着した情報を提供している。

しかし、コミュニティFM放送局に許可される周波数は一局につき一つと決められ、送信出力は制限され弱いことから、市全域の7割でしか受信できず、中心市街地では高層建物の影響により聞きづらいといった問題が生じていた。こうした難聴エリアの解消及び全島で良好に受信できる電波環境の改善の必要性を感じ調査していたところ、親局と中継局が同一周波数でも混信の影響が少ない最新型FM同期放送中継局システムが、技術的にも導入可能であることが分かった。

一方、資金面をクリアするため補助金を探していたが、ほとんどの補助金が製造業向けだったことから諦めかけていたとき、本事業の「革新的サービス」が当社の放送業という業種にも活用できることが分かり導入に踏み切った。

事業内容

難聴エリアを解消し市全域を放送エリアとするためFM同期放送システムを導入。FMみやこの親局を中心市街地近くに移設し、島の東部及び南部エリアをカバーする上野中継局を上野庁舎に設置した。親局と中継局との電波の位相や到達時間のズレによる混信を防ぐため、GPS受信機により時間同期を図った。さらに音声劣化を防ぎ安定したFM同期放送の電波とするため、スタジオから送信所・中継所までの信号を光ケーブルによるデジタル伝送設備を導入した。



島の情報を発信する「スタジオ」

成果

FM同期放送システムは、親局と中継局も同一周波数を使用するため、島内であれば同じ周波数でどこでも聞こえる環境となり、車で移動しながらもストレスなく聴くことができるようになり聴取地域リスナーの満足度が向上した。放送エリアも市全域に拡大し、聴取可能人口も約5万5000人と導入前より1万人増えた。

特に中心市街地は親局を設置することで放送電波がより強くなり受信環境が改善され新規リスナーが増加。これまでエリア外で営業活動対象外だった企業への営業が可能となり、新たな商圏拡大にもつながっている。

今後の展望

市全域が放送エリアとなったことから、住民はもちろんのこと、レンタカーを利用する観光客に向けたサービスの充実が図れる。近年では海外からの観光客も多く、観光客による海難事故も増えていることから、「島ラジオとして何かできないか？」と考え、多言語による「FM音声多重放送」の導入を検討。観光の活性化にも大きく寄与していきたいと考えている。

また、台風時などの災害時における防災情報提供も強化され、安心安全な島づくりに貢献することが期待できる。



親局送信設備一式

平成
26
年度平成
27
年度もの
づく
り
技
術革
新
的
サ
ー
ビ
スお
き
な
わ
の
次
世
代
企
業
の
底
力
に
な
る